

JST 理事長 記者説明会

平成26年11月7日

独立行政法人 科学技術振興機構

本資料に掲載されている記事・写真・図表などの無断転載を禁じます。

サイエンスアゴラ2014

あなたと創るこれからの科学と社会

- ・ **日 程:** 本日～11月9日(日)
- ・ **会 場:** 東京・お台場地区(日本科学未来館ほか)
- ・ **主催等:** **主催** 独立行政法人科学技術振興機構(JST)
共催 産業技術総合研究所、東京都立産業技術研究センター、
日本学生支援機構、国際研究交流大学村、
東京臨海副都心グループ
協力 フジテレビ

※プログラム等の詳細は、以下のURLをご参照ください。

<http://www.jst.go.jp/csc/scienceagora/>

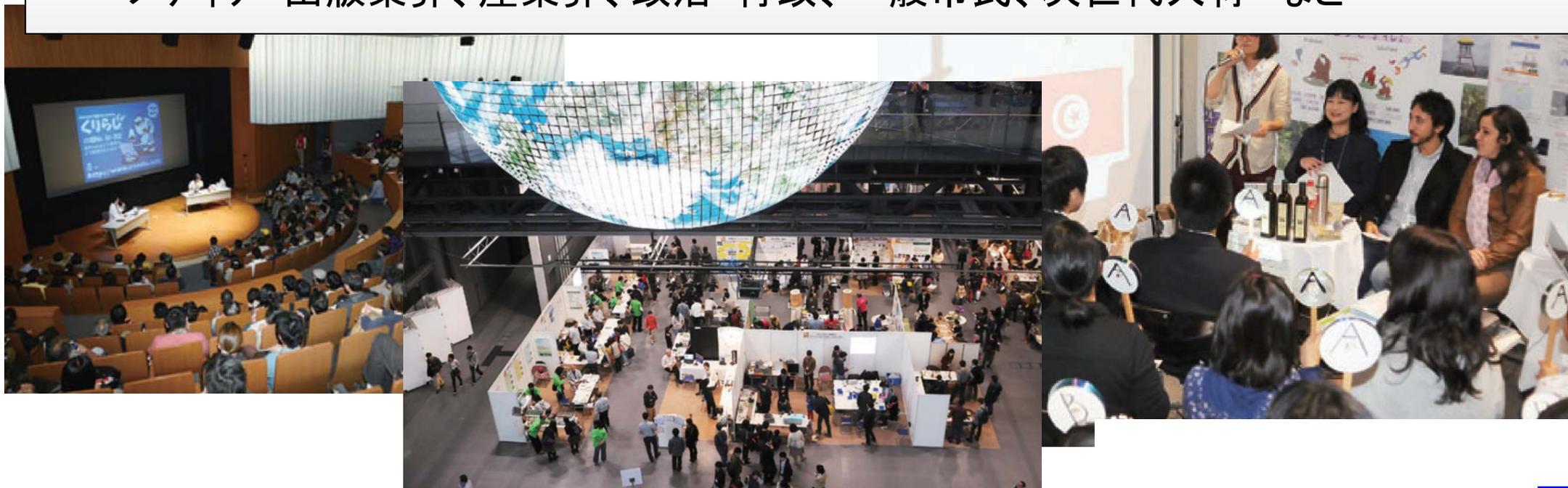
アゴラ2014における重点的な取り組み

1. 研究者(コミュニティ)の参画による企画の充実

JSTバーチャルネットワーク型研究所の「一般公開」
研究者コミュニティに内在する課題の議論
学術領域融合、社会との相互作用、研究倫理、人材育成 など

2. 科学技術に関わる多様なステークホルダーの参画

メディア・出版業界、産業界、政治・行政、一般市民、次世代人材 など



AAAS(アメリカ科学振興協会)年次総会

主催者: すべての人々のために科学技術とイノベーションを世界中で発展させることをミッションとする国際NPO。

開催趣旨: 多数の先導的科学家、技術者、教育者、政策立案者、ジャーナリストが世界中から集まり、最近の科学技術の発展について議論。参加者間のネットワーキング、学生や研究者の研究発展のための大局観を得る機会も。

開始年: 1848年(過去179回開催)

開催形態: 毎年2月
5日間



ESOF(ユーロ・サイエンス・オープン・フォーラム)

主催者: 米国のAAASの役割に注目した科学者が、European association for the advancement of science(EAAS)の構想を発展させて設立した国際NPO。

開催趣旨:

- ・最先端科学技術上の発展の展示
- ・科学技術へのパブリックエンゲージの促進
- ・科学技術、社会、および政策に関する対話
- ・若手科学者への進路相談を含む多様なリソースの提供

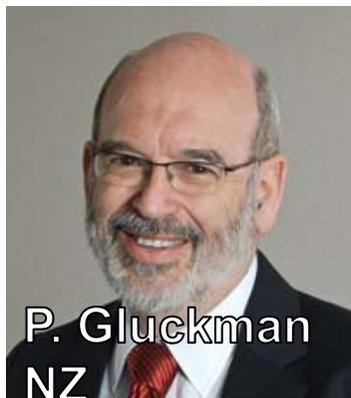
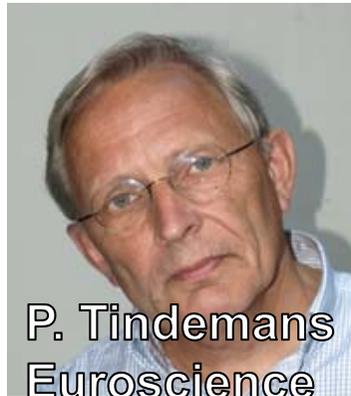
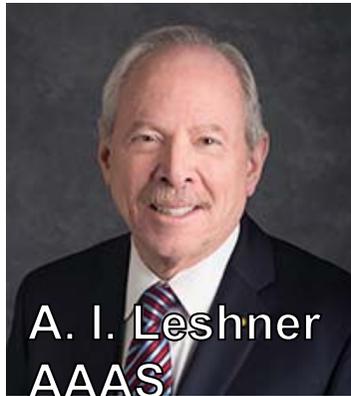
開始年: 2004年(過去5回開催)

開催形態: 隔年7月か8月、5日間

- ・ 欧米の科学コミュニティには、“社会の様々なステークホルダーとともに歩む工夫をしなければ、科学技術の有効な発展はない”という強い決意がある。
- ・ サイエンスアゴラは、日本の科学技術コミュニティにとってのそのような場となり、社会と科学の対話を促進。

サイエンスアゴラ2014 目玉企画①

コマ番号:063 アゴラキーノートセッション
転機を迎える科学～科学、社会、政策をつなぐ～
日本科学未来館未来館ホール／ 11/7(金)15:30-18:00



欧米、アジア・アフリカ地域から科学技術に係わる著名なリーダーを招き、21世紀の科学の役割と責任、社会との関係について討論します。
(有本建男 GRIPS教授:ファシリテータ)

コマ番号:002
実感！みんなの仮想研究所
日本科学未来館1階／ 11/7(金)～9(日)10:00-17:00



CREST・さきがけ・ERATOの9プロジェクトの研究成果を紹介する展覧会。新素材や新デバイスでちょっと先の未来を体験できる。

コマ番号:068

ニコニコ学会β

「研究100連発」 in Science Agora

日本科学未来館1階アゴラステージ / **11/8(土)12:30~14:00**

ニコニコ学会βの超大人気セッション

「研究100連発」が

サイエンスアゴラを舞台に展開します！

テーマ「答えはヒトの中にある」

ヒトの持つ感覚や生体構造には、新しい技術を生み出す際の大きなヒントが潜在する。このヒントを元に、新しい価値や技術を生み出すことへの探求を続ける研究者5名が、それぞれ、これまでの研究17点と目指す未来3点 計20点(5名計100点)を15分(5名計75分)でテンポよく語ります。



講師(発表順)

稲見 昌彦(慶應義塾大学 教授)

和田 有史((独)農研機構 主任研究員)

梶本 裕之(電気通信大学 准教授)

坊農 真弓(国立情報学研究所 准教授)

伊福部 達(東京大学 名誉教授)



コマ番号:062

注目!JSTが導く環境技術革命への道~この技術が買いだ!!~

日本科学未来館1階アゴラステージ / **11/7(金)13:00-17:00**

CREST・さががけ・ALCAから生まれた技術で環境技術革命! 最先進環境技術のシーズを、研究者自身が口頭で紹介。ポスター前で研究者と直接相談も可能。

【プログラム】

13:00~ 開会

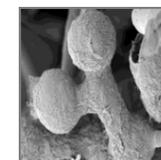
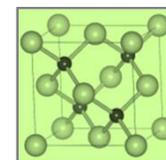
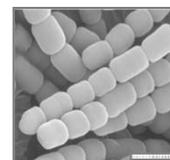
13:05~ 特別講演「新産業創出の志士たちへ」
(西澤 民夫 氏)

13:35~ ①「革新的化学プロセス/省エネルギー」

14:25~ ②「リグノセルロースの利用」

15:15~ ③「バイオマス・バイオオイルの利用」

※セッションごとに、口頭発表後ポスター前で交流



コマ番号:066

競争的研究資金におけるイノベーションは どうしたらおこせるか

日本科学未来館7階会議室1 / **11/7(金)15:30-17:00**

2014年ノーベル物理学賞受賞

「青色発光ダイオードの開発プロジェクト採択と
その後の実用化の経緯」他

*このセッションはJSTのイノベーション人材
育成プログラム(JST-PO研修院)が主催
しています。



コマ番号:152

何で理系にいかないの? ~女子的進路選択のホンネ~

東京都立産業技術研究センター5階講堂 / **11/9(日)13:00-15:30**

科学技術界で輝く女性研究者や記者からの講演で、理系進路について考え、
高校生のアンケートをもとに、理系進路選択で抱える悩みや問題について、
女子高校生と議論するシンポジウム。

- ◇科学技術界で働く女性研究者による講演(30分)
- ◇理系女性研究者を取材した経験を持つ記者による講演(30分)
- ◇女子高校生が理系選択を迷う障壁に関する
パネルディスカッション(90分)

講演者



松井 彩 氏
日本アイ・ビー・エム株式会社
東京基礎研究所 ストラテジー&オペレーションズ



小林 明子 氏
株式会社 朝日新聞出版
アエラ編集部

パネリスト

砥上 雅夫氏 (株式会社講談社 ライツ事業局ブランドビジネス推進部)
高城 英子氏 (元千葉県松戸市中学校教員・現JST理数学習推進部)
現役女子高校生 数名

ファシリテーター 増淵 ふみ (JST理数学習推進部)

コマ番号: 154

「『未来スタジオ』夢をかなえるテクノロジー」

フジテレビ湾岸スタジオ1階／

11/8(土)～9(日)10:00-17:00

概要: ちょっとワクワクできる夢空間「未来スタジオ」。
みんなの夢をかなえる最先端テクノロジーのすごさを見て、
聴いて、触って、感じる！

次々と登場するテクノロジーでたくさん想像力を働かせて
ください。

「未来スタジオ」は、すぐそこにある未来を発信する劇場型
ライブ企画です。



Prof.Sankai University of Tsukuba/CYBERDYNE Inc



サイバーダイン株式会社 / 株式会社ソニーコンピュータサイエンス研究所
大和ハウス工業株式会社 / 株式会社電通サイエンスジャム
プロデュースアンドディレクション: 独立行政法人 科学技術振興機構

コマ番号: 171

「科学技術イノベーションにおける『統合化』」

東京国際交流館3階国際交流会議場／

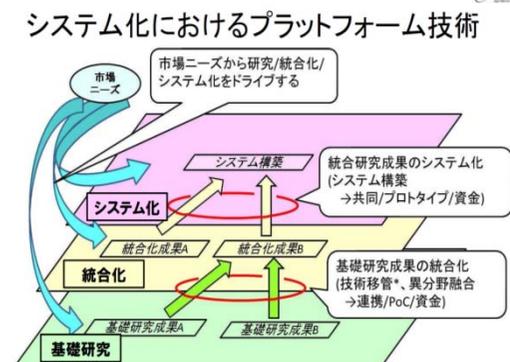
11/7(金)13:00-17:00(途中入場OK)

登壇者: 中村道治 JST 理事長、富山和彦 経営共創基盤 代表取締役 CEO 他

概要:

現在、科学技術には、イノベーションを生み出し、
生活や社会を変革することが期待されています。
このため、自然科学と人文社会科学との統合化、
多様なアイデアや技術などの統合化を促進する
ことが不可欠です。

本シンポジウムでは、
これからの国際競争力の
源泉となる、イノベー
ションを生み出す統合化
システムを設計するた
めの方法論や、これを
実現するための基盤
整備について議論
します。



(*) 技術移管: 基礎研究と統合化では、基本的に、プレイヤーが変わるため、技術移管が必要

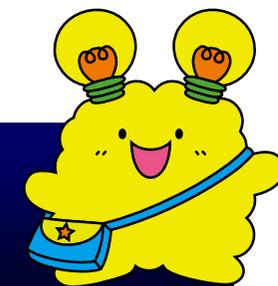
第2回科学の甲子園ジュニア全国大会

全国大会の開催

日時 12月5日(金)～7日(日)

場所 BumB(ブンブ)東京スポーツ文化館(江東区夢の島)

- 概要
- ・47都道府県の代表チーム(1チーム6名で構成)が参加
 - ・筆記競技/実技(実験/工作)競技を、チームで分担・相談しながら協働で成果を競い合う
 - ・協賛企業による表彰やエキシビション競技も



【科学の甲子園ジュニア】について

中学生が、科学や数学等の競技にチームで取組むことで、科学の楽しさ、面白さを知り、科学と実生活・実社会との関連に気付き、科学を学ぶことの意義を実感できる場として2013年度より開催

プレイベント「科学の甲子園・甲子園ジュニアを体験してみよう！」

日時 11月9日(日)10:20～16:45 (4セッション)

場所 東京国際交流館 3階 国際交流会議場 特設会場(小間番号163)

テーマ 「身近な素材でタワーを作ろう」「クリップモーターカーレース」

(参考HP⇒<http://rikai.jst.go.jp/koushien-Jr/>)

新規研究領域及び研究総括の決定

研究領域

齊藤スピン量子整流

研究総括

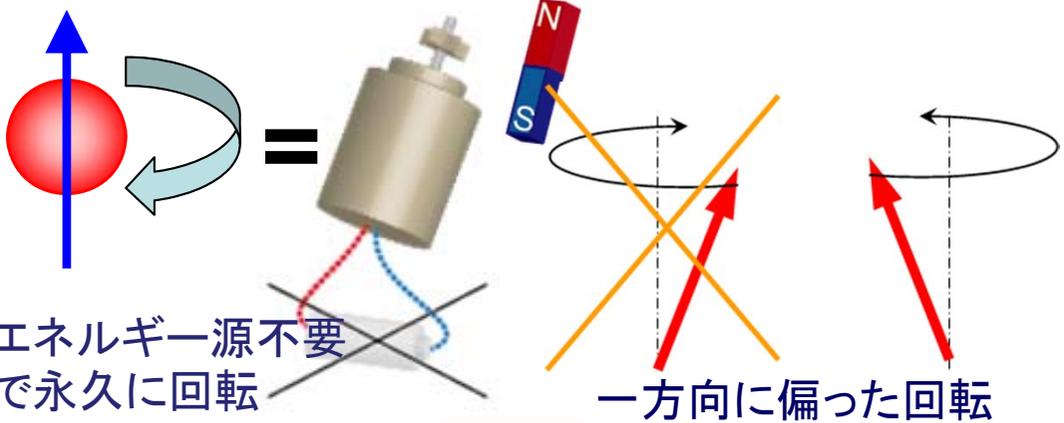


齊藤 英治

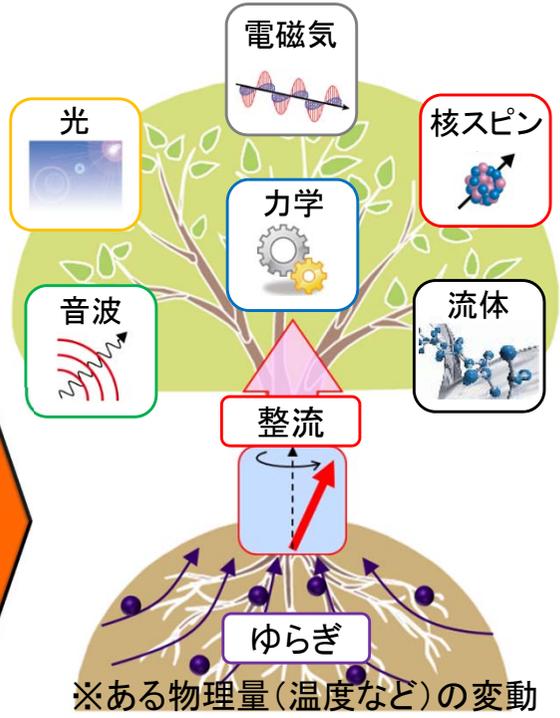
(さいとう えいじ)

東北大学 原子分子材料科学高等
研究機構 / 金属材料研究所 教授

電子スピンの性質



スピン量子整流

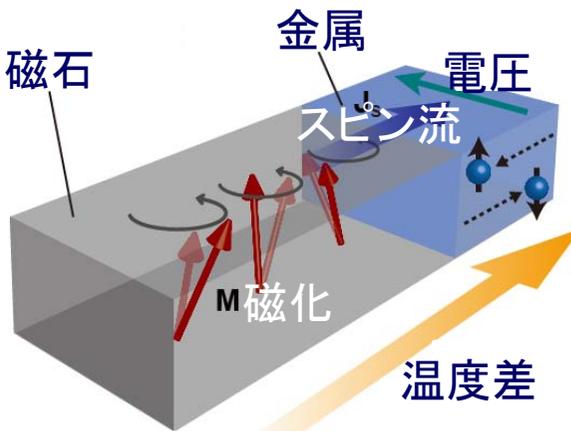


スピンをういてゆらぎを整流し、さまざまな形態での応用へ展開

材料内部でエネルギー変換・情報処理を行うという新しい科学技術の方向性

スピンゼーベック効果

…ランダムな運動(熱)からスピン流・電気を生成



スピが本質的に持っている整流性(物理法則)を利用

素子構造やプロセスの簡単化・新機能の可能性

科学技術に革命的な潮流をもたらす可能性
→省資源・省エネ社会、新産業